東医大誌, 40(3):433~442 (1982)

Benzodiazepine 誘導体 Triazolam の 精子系に及ぼす影響

東京医科大学薬理学教室(主任:渋谷 健教授)

松田宏三 山田博一 張 光雄 謝 明村

松永寛幸 林 秀憲 渋谷 健

Effects of Benzodiazepine Derivative Triazolam on Morphology of Sperm

Hiromi MATSUDA, Hirokazu YAMADA, Kuang-Hsiung CHANG, Ming-Tsuen HSIEH, Hiroyuki MATSUNAGA, Hidenori HAYASHI, Takeshi SHIBUYA

Department of Pharmacology, Tokyo Medical College (Director: Prof. T. SHIBUYA)

Effects of triazolam on morphology of sperm and reproduction in rats given orally the drug daily for 15 consecutive days (Study A) and 30 consecutive days (Study B) were investigated.

In Study A, little drug effect was observed on morphology of sperm at dose levels of 5 mg/kg or less. At 50 mg/kg, acrosomal change and neck twist occurred; furthermore, looped tails in both principal and end pieces were noted with high frequency. At 500 mg/kg, loss and change of acrosome and frequent looped tails occurred.

In Study B, acrosomal change and neck twist were noted at the dose level of 5 mg/kg. At 50 mg/kg and 500 mg/kg, these effects became stronger in addition to loss of acrosome and very marked looped tails. These morphological changes of sperm, however, were reversed after 30 days of recovery from the drug in both Study A and Study B, showing no difference from controls.

It should be noted that 50 mg/kg and 500 mg/kg which caused looped tails frequently were very high doses and that when considered in terms of estimated doses to be used clinically in humans triazolam will have almost no effect on sperm.

As to effects on reproduction in rats, triazolam depressed only the mounting rate at the dose levels of 0.5 mg/kg or over in both Study A and Study B. The pregnancy rate and birth rate were similar between treated and control animals.

I. 緒 言

Benzodiazepine 誘導体は、minor tranquilizer として、臨床では不安、緊張状態、神経症、てんかん小発作、不眠など広範囲に用いられている薬物である。Hester¹⁾²⁾ らによつて報告された triazole 環を有する新しい benzodiazepine 誘導体である triazolam (8-chloro-6-(o-chlorophenyl)-1-methyl-4H-s-triazolo [4, 3-a][1, 4] benzodiazepine) も、催眠作用、抗痙攣作用、筋弛緩作用、鎮静作用、馴化作用および抗不安作用を有することが示唆されている。また、臨床的に従来の benzodiazepine 同様、不眠症の患者に有意に催眠作用を示すことが認められている。

渋谷³³⁴ らは、向精神薬の精子形態変化について chlorpromazine は変化が見られず、nitrazepam および chlordiazepoxide は diazepam より強く変化すると報告している。本薬の生殖器系への影響としては 毒性実験で卵巣および精巣の体重比重量、絶体重量および病理組織所見の報告がみられ、従来の benzodiazepine 系薬物と比較して臨床応用量の範囲内では比較的安全性の高い薬物であると思われる。しかしながらこの種の薬物に関しては生殖器系への影響は重視されねばならないことは云うまでもない。かかる見地より triazolam の精子形態変化への影響について精細な検討を行い知見を得たので報告する。

II. 実験材料

実験動物には、SD 系ラットを使用し、雄性ラットは 230±20 g のものを 1 群 20 匹とし総数 140 匹使用した. 雌性ラットは体重 200±20 g のものを用い、1 群 10 匹とし総数 420 匹使用した.

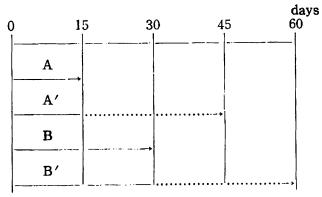
被検薬は、日本アップション株式会社より提供された結晶性粉末の triazolam を使用した。

III. 実験方法

Triazolam は、0.25% CMC 溶液に懸濁させ1日 1回一定時刻に経口投与した。

投与量および投与期間は Fig. 1 の方法によつて行った. すなわち, A, A' 方法では, A は被検薬を 15 日間連日投与し, A' は投与 15 日以後は投与停止のまま 30 日間飼育し,実験開始後 45 日目で精子検査を行った.

更に, B, B' 方法は 30 日間連続投与し, A' 方法 同様, B' は投与停止後 30 日間飼育し, 60 日目で精



.....: DEPRIVATION OF DRUG

→: SACRIFICE OF RATS

0.25% C.M.C. 2.5 ml/kg p.o.

TRIAZOLAM: 0.005 mg/kg p.o., 0.05mg/kg p.o., 0.5 mg/kg p.o., 5 mg/kg p.o., 5 mg/kg p.o., 50 mg/kg p.o., 500 mg/kg p.o.,

Fig. 1 Administration schedule of triazolam

子検査を行つた.

精子形態観察⁶⁾⁴⁾ は、投与 15 日目に無麻酔下で片側の輸精管から精液を採取したのち、5 ml 生理食塩水で稀釈後 0.1 ml ツベルクリン注射器で取りスライドガラスに塗沫乾燥せしめた後、ローズベンガル染色後検鏡した。

被検薬投与後7日目,14日目,21日目,30日目,45日目,60日目に5匹を選び,今道⁵⁰,信永⁶⁰の性 周期判定方法に従い,vaginal smear 上 proestrus の 雌ラットを各群 10 匹選び,一昼夜 同居 させ,明朝 smear 中に精子の有無をチェックし,精子の認められたものを mounting 陽性(+)とした.更に,妊娠数,妊娠日数,出産仔数をも観察した.但し,妊娠日数は mounting 陽性日を妊娠第0日とし,妊娠後の認められなかつた母体は mounting 陽性日より 21日目に脱血致死させ,子宮内の着床痕数,死亡吸収胎仔数を観察した.

IV. 実験成績

1) 全身症状の観察

連日被検薬の経口投与後3~4時間全身症状を観察 した。

対照群 (0.25% CMC 溶液 2.5 ml/kg) は、投与期間および回復実験期間 (休薬期間)を通じて目立つた変化は見られなかつた。0.005 mg/kg 群では、実験期間を通じて対照群との間にほとんど差は見られなかった。0.05 mg/kg は、交付後 5 分前後から 90 分頃まで軽度の鎮静状態、自発運動の減少が観察された

Table 1 Effects of triazolam on the morphologic change of the rat's sperm

	C. M. C.			triazo	lam		
-	2.5 m <i>l</i>	0. 005	0. 05	0, 5	5	50	500 mg/kg
Loss of acrosome		_			-		+
Change of acrosome	_	 	_	_	_	+	+
Twist of neck	-	· —	_	_	_	+	+
Looped tail			_	_	+	#	+1-
Cytoplasmic droplet	-		_	_	_	+	+

15 日間連日 Triazolam 投与

-:0

 $\pm : 0 \sim 10$

 $+:11\sim30$

#:31~60

100 カウント中の精子の奇形数

Table 2 Effects of triazolam on the morphologic change of the rat's sperm

	C. M. C.	I.C. triazolam										
	2.5 m <i>l</i>	0.005	0. 05	0. 5	0	50	500 mg/kg					
Loss of acrosome		<u> </u>	_	_		±	+					
Change of acrosome	_	: -	_	_	+	+	#					
Twist of neck	_	_	_	±	+	#	#					
Looped tail	<u> </u>	 <u>+</u>		±	+	#	 					
Cytoplasmic droplet	-	-	_	_	_	+	+					

30 日間連日 Triazolam 投与

-: 0

 $\pm : 0 \sim 10$

 $+:11\sim30$

 $#:31\sim60$

##:61~80

100 カウント中の精子の奇形数

が、投与7日頃から鎮静状態はやや減弱傾向が見られた。また、対照群同様、回復実験期間を通じて対照群との間にほとんど差は見られなかつた。0.5 mg/kg投与群では、0.05 mg/kg 同様、鎮静状態が見られ、その持続時間は 120 分頃まで持続した。また、鎮静状態は 0.05 mg/kg 同様7日頃からやや弱まり、外部刺激に対する反応が鋭敏になった。5 mg/kg では、投与後2~3分から強い鎮静状態と共にラットは cag。内に点在した。更に、一部のラットに筋弛緩のため正常姿勢の保持が出来ないものも観察された。50 mg/kg では、鎮静作用、筋弛緩作用は増強され、投与後2~3分で強い鎮静状態が見られた。更に後肢を屈曲

させ下腹部を床に落した姿勢を保持し、軀幹をつつく

と後肢を引きずるように逃避した. これら の 症 状 は

500 mg/kg で更に増強した.

2) 精子形態変化に及ぼす影響

i) CMC 投与の場合

0.25% CMC 溶液投与群(対照)では、Fig. 2, Table 1~4 に示す如く形態変化は認められなかった.

ii) Triazolam 15 日間連日投与の場合

0.005 mg, 0.05 mg, 0.5 mg/kg 投与では、対照群との間に形態的変化は見られなかつた。5 mg/kg では Fig. 3, Table 1 に示す如くであつた。すなわち、acrosome および neck には対照と比較して形態的変化は見られないが、尾部、特に middle piece の軽度の弯曲する精子が一部に認められた。また、middle piece の弯曲よりはゆるやかであるが principal piece にも若干の弯曲が認められた。

Effects of triazolam on the morphologic change of the rat's sperm

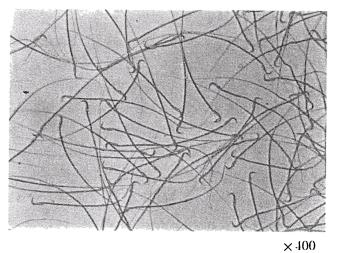


Fig. 2 Control (0.5%) C.M.C. 2.5 ml/kg (P.O.)

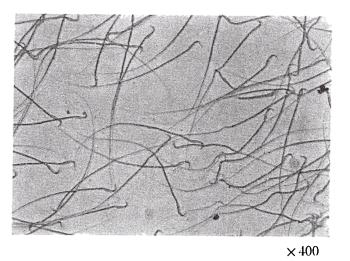


Fig. 3 Triazolam 5 mg/kg (P.O.) 15日間連日投与

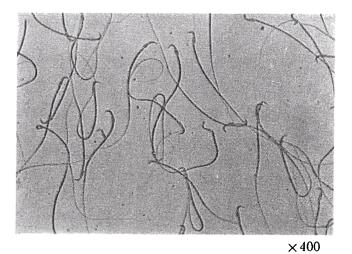


Fig. 4 Triazolam 50 mg/kg (P.O.) 15日間連日投与

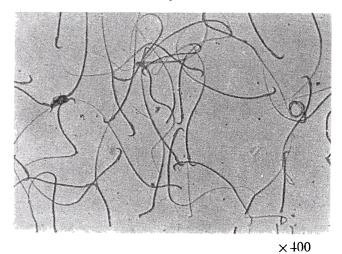


Fig. 5 Triazolam 500 mg/kg (P.O.) 15日間連日投与

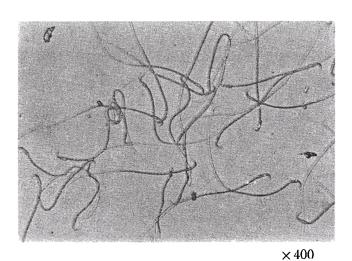


Fig. 6 Triazolam 5 mg/kg (P.O.) 30日間連日投与

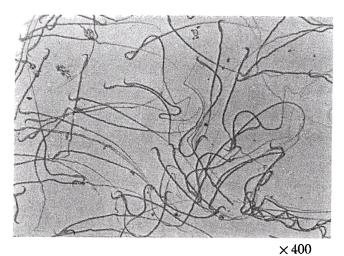


Fig. 7 Triazolam 50 mg/kg (P.O.) 30日間連日投与

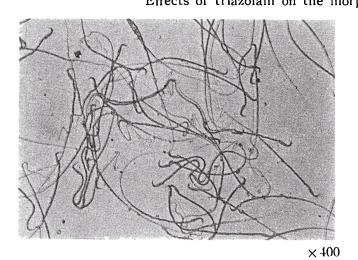


Fig. 8 Triazolam 500 mg/kg (P.O.) 30日間連日投与

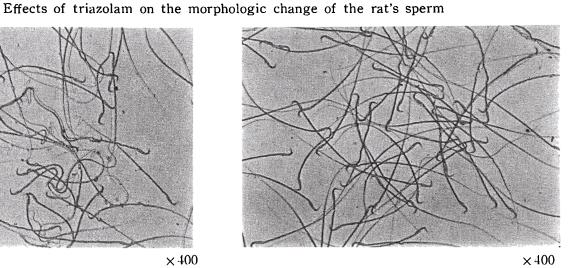


Fig. 10 Triazolam 50 mg/kg (P.O.) 30日間連日投与 回復実験

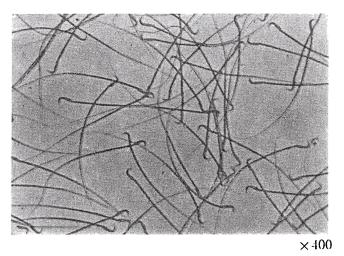


Fig. 9 Triazolam 5 mg/kg (P.O.) 30日間連日投与 回復実験

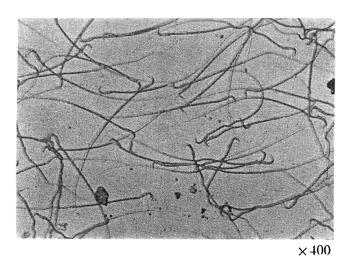


Fig. 11 Triazolam 500 mg/kg (P.O.) 30日間連日投与 回復実験

Table 3 Effects of triazolam on morphologic change of the rat's sperm

	C. M. C.			Tria	zolam		
	2.5 m <i>l</i>	0.005	0. 05	0.5	5	50	500 mg/kg
Loss of acrosome		_	_	_	_	_	_
Change of acrosome	_	· –	_		_		_
Twist of neck	: . —	_	_	_	_	_	_
Looped tail	<u>±</u>	!	<u>±</u>	_	-	<u>±</u>	土
Cytoplasmic droplet	_	-	_	-	_	_	
Loss of acrosome		_	_	_	_	—	_
Change of acrosome	i -	<u> </u>		_	_	_	
Twist of neck	<u> </u>	-		-	_		_
Looped tail	±	±	_	_	±	-	<u>+</u>
Cytoplasmic droplet			_	_	_		_

回復実験

-: 0

 $\pm : 0 \sim 10$

100 カウント中の精子の奇形数

表上:15 日間 Triazolam 連続投与し,30 日間休薬後. 表下:30 日間 Triazolam 連続投与し,30 日間休薬後.

50 mg/kg 群では、Fig. 4、Table 1 に示す如く acrosome の脱落は見られないが、neck、looped tail、cytplasmic droplet などが認められた。すなわち、acrosome の変形は、anterior region の伸展が見られた。更に、尾部の形態変化としては、principal piece の強度の弯曲が見られた。また、end piece では、principal piece と同様の弯曲が認められた。

500 mg/kg 投与群では、Fig. 5, Table 1 に示す如く、acrosome の形態変化は、anterior region の伸展、頭狭および acrosome の脱落などが認められた。 更に looped tail は、50 mg/kg とほぼ同 程度の変化であつたが、end piece の渦巻、弯曲及び distal droplet などが観察された.

iii) Triazolam 30 日間連日投与の場合

Triazolam 0.005 mg, 0.05 mg, 0.5 mg/kg の各投与群は、Table 2 に示す如く精子の形態変化は見られなかつた。5 mg/kg 群では、Fig. 6、Table 2 に示す如く acrosome の脱落は見られず、anterior regionの伸展、neck のよじれ及び屈曲が見られた。更に、尾部の形態変化は middle piece の緩やかな弯曲、principal piece の屈曲および end piece の屈曲、渦巻などによる tail to tail が認められた。

50 mg/kg では、Fig. 7、Table. 2 に示す如く acrosome の変形、looped tail などの変化は 5 mg/kgより更に重度であり、一部に acrosome の脱落も認められた。

500 mg/kg では、Fig. 8、 Table. 2 に示す如く acrosome の変形、脱落および neck のよじれなどの 症状も 50 mg/kg よりやや強い程度であつた。また、looped tail は特に強く現われ、principal piece 部位 から強い弯曲を示した。更に principal piece および end piece の蛇行状の尾部が観察された。

iv) 回復実験に及ぼす影響

Triazolam の 50 mg/kg 以下の諸量を 15 日間, 30 日間連日投与後, 30 日間休薬後の精子 形態 変 化は, Fig. 9~11, Table 3 に示す如く, 対照との間に差は認められなかつた. 500 mg/kg 投与群 で若干の looped tail が認められたが, 対照群にも若干 見られた.

3) Triazolam の生殖に及ぼす影響

i) CMC 投与の場合

0.25% CMC 溶液投与では、Table 4~7 に示す如く mounting rate, pregnancy rate および birth rate には影響を及ぼさなかつた.

ii) Triazolam 15 日間連日投与の場合

0.005 mg/kg, 0.05 mg/kg 投与群では, Table 4 の如く対照との間に差は見られなかつた. 0.5 mg/kg では, mounting rate は対照と比較して減少したが, pregnancy rate, birth rate および妊娠日数は対照と比べ差は見られなかつた. 5 mg/kg では, mounting rate は 0.5 mg/kg 投与群より高値を示したが, birth rate は減少し, 妊娠日数もやや延長傾向を示した.

Table 4 Effects of triazolam on reproduction

	Mounting Pregnancy B		Difful - 1	P	reg	naı	асу	da	ys	Averag	litter		
	rate	rate	rate	pregnancy days	20	21	22	23	24	25	Live	Dead	No.
control	10/10	10/10	10/10	21.0	2	7		1			13.0	0.8	13.8
Triazolam 0.005 mg/kg	100/10	10/10	10/10	20.7	4	5	1				10.0	0.8	10.8
0.05	10/10	10/10	10/10	21.2	4	2	2	2			10.0	1.0	11.0
0. 5	7/10	6/10	6/10	21.0	2	2	2				9.7	2.3	12.0
5	8/10	8/10	7/10*	22.7*		1	3	1	1	1*	9.3	1.7	11.0
50	7/10	5/10	5/10	21.4		1	3	1			11.5	0.5	12.0
500	3/10	2/10	2/10	23. 0			1		1		10.0	3.0	13. 0

分母は1群中の匹敵 * 印は子宮内で死亡

雄ラットにのみ Triazolam 15 日間連続投与したのち、雌ラットのみの群(1群 10 匹)に雄ラット(5匹)を入れ、交尾匹数、妊娠匹数、出産匹数、ならびに 平均妊娠期間(分娩までの日数)を比較したもの、なお、出産仔数は、1群中の平均匹数を示す。

Table 5 Effects of triazolam on reproduction

	Mounting	Mounting Pregnancy B			reg	na	ncy	days	Average No. litter			
	rate	rate	rate	Pregnancy days	20	21	22	23	24 25	Live	Dead	No.
control	10/10	9/10	9/10	21.0	1	8	1			12.7	0	12.7
Triazolam 0.005 mg/kg	10/10	10/10	10/10	21.4	1	5	3	1		11.7	0	11.7
0.05	10/10	9/10	9/10	22. 1	1	2	2	3	1	8.8	0.8	9.6
0.5	8/10	8/10	8/10	22.4		1	4	2	1	8.7	0	8.7
5	7/10	5/10	5/10	22.6			2	3		10.8	0	10, 8
50	4/10	3/10	2/10*	23.0			1		1	11.0	0	11.0
500	3/10	2/10	2/10	23.0				2		9.5	0	9.5

分母は1群中の匹数 * 印は子宮内で死亡

雄ラットにのみ Triazolam 30 日間連続投与したのち、雌ラットのみの群 (1群 10 匹, ただし発情期のもの)に雄ラット (5匹)を入れ、交尾匹数、妊娠匹数、出産匹数ならびに平均妊娠期間 (分娩までの日数)を比較したもの、なお、出産仔数は1群中の平均匹数を示す。

50 mg/kg では、Table 4 に示す如く mounting rate は対照に比較して減少したが、pregnancy rate および birth rate は対照群と同率であり、妊娠日数も対照と差は見られなかつた。500 mg/kg では、mounting rate は抑制され対照と比較して約70%減少したが、pregnancy rate、birth rate は対照と同率であつたが、妊娠日数には延長傾向が見られた。

iii) Triazolam 30 日間連日投与の場合

CMC および triazolam の各投与量を 30 日間連日 投与した場合, Table 5 に示す如くであつた. 0.005 mg/kg および 0.05 mg/kg 投与では、対照との差は 認められなかつた. 0.5 mg/kg では, mounting rate は対照に比較して減少したが, pregnancy rate および birth rate は同率であり, 妊娠日数もほとんど差は見られ なかった. 5 mg/kg では, mounting rate は 0.5 mg/kg 群より減少し, pregnancy rate は対照に比較して約 20 %抑制されたが, birth rate は対照と同率であった.

50 mg/kg では、対照と比較して mounting rate は 60%減少し、pregnancy rate は約 15%減少した. 更に birth rate は約 30%減少し、妊娠日数も延長傾向を示した. 500 mg/kg は対照と比較して mounting rate は 70%減少、pregnancy rate は 20%少なく、birth rate は同率であつたが、妊娠日数は

Table 6 Effects of triazolam on reproduction

	Mounting	5 5 7		DITIO -		reg	naı	псу	days	Averag	litter	
	rate	rate	rate	pregnancy days	20	21	22	23	24 25	Live	Dead	No.
control	10/10	10/10	10/10	21.3	1	6	2	1		14. 1	0, 4	14.5
Triazolam 0.005 mg/kg	10/10	10/10	10/10	21. 2		8	2			13.0	0	13.0
0.05	10/10	9/10	9/10	20.9	2	6	1			10.0	0.5	10.5
0, 5	10/10	10/10	10/10	21.3	1	5	4			11.5	0.5	12.0
5	10/10	10/10	10/10	21.0		10				9.7	0.8	10.5
50	9/10	9/10	9/10	20.8	3	5	1			12.7	2.4	15.0
500	8/10	7/10	7/10	21.3		5	2			11.0	4.0	15.0

分母は1群中の匹数

雄ラットにのみ Triazolam 15 日間連続投与後,30 日間休薬したのち,雌ラットのみの群(1群 10匹)に雄ラット(5匹)を入れ,交尾匹数,妊娠匹数,出産匹数,ならびに平均妊娠期間(分娩までの日数)を比較したもの.なお出産仔数は1群中の平均匹数を示す.

Table 7 Effects of triazolam on reproduction

	Mounting			D1F111 - 1	P	reg	nan	ıcy	days	Averag	litter	
1	rate	rate	rate	pregnancy days	20	21	22	23	24 25	Live	Dead	No.
control	10/10	10/10	10/10	21.3	1	5	4			10.7	2. 4	13.0
Triazolam 0.005 mg/kg	10/10	10/10	10/10	21.1		9	1			11.5	0	11.5
0.05	10/10	10/10	10/10	21.7		3	7			8.7	2.5	11.2
0.5	10/10	9/10	9/10	21.0	1	7	1			9.8	4.0	13.8
5	10/10	10/10	10/10	21.1	2	6	1	1		13.0	0	13.0
50	9/10	9/10	8/10	21.0		8				11.2	1.3	12.5
500	8/10	8/10	8/10	20.8	3	4	1			9.7	2.3	12.0

分母は1群中の匹数

雄ラットにのみ Triazolam を 30 日間連続投与し、更に 30 日間休薬したのち雄ラットのみの群 (1群 10 匹)に雄ラット (5匹)を入れ、交尾匹数、妊娠匹数、出産匹数ならびに平均妊娠期間 (分娩までの日数)を比較したもの、なお出産仔数は1群中の平均匹数を示す。

50 mg/kg 同様延長傾向を示した.

iv) 回復実験に及ぼす影響

Triazolam の 15 日間, 30 日間連日投与後,各々 30 日間休薬期間後の結果は Table 6, Table 7 に示す通りであつた。すなわち、15 日間投薬後 30 日間休薬では、50 mg/kg, 500 mg/kg 群に対照と比較してmounting rate の若干の抑制が見られたが、pregnancy rate, birth rate および妊娠日数で対照と差異は認められなかつた。

30 日間投薬後休薬では、15 日群と同様の傾向を示した。

V. 総括ならびに考察

F記の実験結果から次のように総括し考察する.

- 1) 全身症状を指標として観察する場合, triazo-lam 5 mg/kg 以上の諸量では、投与後3~5分で naive behavior は鎮静状態を示した。また、筋弛緩 様症状も認められ、更に軀幹への接触も容易であり、古川⁷、君島⁸、五味田⁸)らの報告と一致する。これらは minor tranquilizer の特長である鎮静作用、筋弛緩作用、抗不安作用などを triazolam は併せもつものと思われる。
- 2) Triazolam の精子に及ぼす影響は 15 日間連日 投与の場合, 0.005 mg/kg および 0.05 mg/kg 投与 では、精子形態に影響を及ぼさない。

5 mg/kg 投与群で一部, looped tail が観察されるが、生理的範囲内の奇形率であり、薬物による形態変化とは考えられない、50 mg/kg では, acrosome の

脱落は見られないが、acrosome の形態変化、neck のよじれなどが見られる。更に looped tail 出現は principal piece および end piece の両部位に発現頻度が高い、500 mg/kg では、acrosome の脱落、acrosome の変化、looped tail などが見られる。特に looped tail の発現が非常に多く見られる。しかし、benzodiazepine 誘導体に見られる様な acrosome の脱落は少ない。

Triazolam 30 日間連日投与の場合, 0.005 mg/kg, 0.05 mg/kg および 0.5 mg/kg では, triazolam 15 日間投与群とほぼ同様で対照との間に差は 見られない.5 mg/kg では, 15 日間投与に見られなかつた acrosome の変化, neck のよじれなどが 見られる. これらのことは, 睾丸から副睾丸に送り込まれた精子が,何らかの影響を受けて成長が抑制されたものと思われる. また 50 及び 500 mg/kg では, これらの症状が更に重度となり, acrosome の脱落, acrosome の変化, 非常に強い looped tail などが見られる.

15 日間,30 日間連日投与後,各々30 日間休薬期間 後の精子への影響は、両実験とも50 及び500 mg/kg 群で若干の looped tail が認められるが、その奇形率 は生理的範囲内であり、triazolam による影響とは考 えられない。

3) Triazolam の生殖に及ぼす影響

雄性ラットに 15 日間, 30 日間連日投与の場合, 0.005, 0.05, 0.5, 5, 50 及び 500 mg/kg の各投与量群とも pregnancy rate, birth rate は対照と同率であるが, mounting rate は高用量になるにつれて減少している. このことは一般症状の観察で見られたように鎮静状態発現のためと 思われる. また, 他のbenzodiazepine に見られる様な acrosome の脱落が少ないことも pregnancy rate が高用量でも対照と同率を示すものと思われる.

また回復実験で 15 日間,30 日間投与後,30 日間 休薬群も pregnancy rate, birth rate は対照との間 に差は見られないが、mounting rate が低いのは、お そらく雌性ラットの性周期誤認あるいは雌性ラットの 体調の変化によるものであり、雄性ラットの異常とは 考えられない.

以上要するに、triazolam の精子形態変化に及ぼす 影響は、5 mg/kg 以下の諸量ではほとんど影響はな いものと思われる。また、50 mg/kg、500 mg/kg の 場合、他の benzodiazepine 誘導体に見られる 様な acrosome の脱落は認められないが、looped tail の 発現が多く見られる. Looped tail の発現は精巣における精子形成障害に基くものと思われる.

なお、looped tail の発現の多い 50 mg, 500 mg/kg の量は、極めて大量で、推定される臨床量から考察した場合、ほとんど精子形成に影響を及ぼさないものと思われる。

VI. 結 論

上記の実験結果を次の如く結論する.

- 1. Triazolam は鎮静作用および筋弛緩作用を保有する.
- 2. Triazolam の精子形態変化に及ぼす影響は 5 mg/kg 以下の諸量ではほとんど影響を及ぼさない. 50 mg, 500 mg/kg では acrosome の変化, neck のよじれ, looped tail などが発現するが, acrosome の脱落は少ない. また, looped tail の発現の多い500 mg/kg は極めて大量で,推定される臨床量から考察した場合には,ほとんど精子には影響を及ぼさないと考えるべきである.
- 3. 回復実験での triazolam の影響は 50 mg, 500 mg/kg での acrosome の変化, looped tail などの精子形態変化は, 30 日間の休薬で回復 し対照 群との差異は見られない.
- 4. Triazolam の生殖に及ぼす影響は, mounting rate のみ高用量で抑制される. また, pregnancy rate, birth rate は影響されない.
- 5. Triazolam の生殖に及ぼす回復実験では, mounting rate は高用量で若干抑制 され たが, triazolam の影響とは考えられない.

殖 文

- Hester, JB, Duchamp, DJ, and Chidester,
 CG: A synthetic approach to new 1, 4-benzodiazepine derivatives. Tetrahedron Letters
 1609~1612, 1971
- 2) Hester, JB, Rudzik, AD and Kamdar, BV: 6-Phenyl-4H-s-triazolo [4, 3-a] [1, 4] benzodiazepines which have central nervous system depressant activity. Journal of Medicinal Chemistry 14: 1078~1081, 1971
- 3) 渋谷 健 他:精子の自動運動と形態変化に及ぼ す諸種向精神薬の影響 (第1報)。日薬理誌 70 (4):84,1974
- 4) 渋谷 健 他:精子の自動運動と形態変化に及ぶ

- す諸種向精神薬の影響 (第2報)。 日 薬 理 誌 70 (4): 176, 1974
- 5) 今道友則:医学研究に必要な実験動物の繁殖生理. 順天堂医学 21 (4): 345~354, 1975
- 6) 信永利馬 他: wistar-imamichi rat の性 周期 (4日) ならびにこれに伴う生理学的諸現象に関する基礎的検討 1. 腟垢像の連続的観察. 家蓄繁殖研究会誌 14 (1): 1~7, 1968
- 7) 古川達雄 他: Triazolam の薬理作用について. 医学研究 **45** (5): 285~302, 1975
- 8) 君島健次郎 他:新 benzodiazepine 誘導体 triazolam の中枢作用. 米子医学雑誌 27 (4): 314~323, 1976
- 9) 五味田裕 他: Benzodiaepine 誘導体 Tpiazolam の条件行動に対する作用. 日本薬理学雑誌 74: 615~628, 1978